

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育て支援センターサンライズ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境作りができています。	構造化された環境設定や活動内容の工夫を行い、個別支援計画書に基づいた一貫した支援を実施している。	専門性向上のための研修や職員間での共有を継続し、より質の高い支援に繋げていく。
2	保護者との信頼関係が構築されており、日頃から丁寧な情報共有や相談支援が行われている。	定期的な面談や送迎時の情報共有、SNSや通信を活用した情報発信を行なっている。	保護者同士の交流機会や家族支援について、ニーズを踏まえながら検討していく。
3	子どもたちが安心して楽しく通所できており、支援全体への満足度が高い。	安全管理や事故防止を徹底し、安心して活動できる環境づくりを継続している。	地域との関わりや外出活動など、社会経験につながる活動をさらに充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースについて、もう少し広さがあると良いという意見があった。	利用人数や活動内容によっては、空間に限りがある場面があるため。	活動内容や人数に応じた環境設定を行い、安全面配慮した空間活用を継続する。
2	地域交流や保護者や同士の交流機会が少ない。	保護者の生活状況やニーズの違いにより、交流機会の設定が難しいため。	無理のない範囲で交流会や情報交換の場を検討し、地域資源の活用も進めていく。
3	情報発信や各種取り組みについて、十分に伝わりきれてない部分がある。	SNSやホームページ等の発信頻度や周知の方法にばらつきがあるため。	ホームページやSNS等を活用し、分かりやすくタイムリーな情報発信を継続していく。